



からしだね

KARASHIDANE



見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み
その名をインマヌエルと呼ぶ。

旧約聖書／イザヤ書 7章14節

キリスト教では「救い」という言葉が頻繁に出てきます。とはいえ、人間の救いとはただごとではありません。抱えている問題が複雑であればあるほど、どう解きほぐせばよいか分からないからです。

もし、自分の目の前に深い悩みを持った人がいると、何とかしてあげたいという思いから「何でもします」と迫っていき、かえって相手の息を詰まらせてしまうかもしれません。むしろ、「何もできないけど」とわきまえながら、そばに居続けてくれる方が助けになるのではないのでしょうか。

ところでクリスマスは、イエスが赤ちゃんとして生まれたことをお祝いします。なぜでしょうか？ それは赤ちゃんが「弱い」からです。イエスは、弱さによって人間を救います。

イエスの弱さ、無力さの極みは、十字架です。キリスト教信仰の核は、イエス・キリストの無力な十字架の姿の中に、神がいるのを見ることです。イエスの弟子たちは、イエスが無力に逮捕された時、弱さに耐えられず、逃げ出してしまいました。なぜなら、イエスの十字架の死は、当時の人たちが期待していた救い主のイメージを裏切るからです。人々は、十字架（苦しみ）を蹴散らしてくれるヒーローを期待しまし

た。しかし、そうではなかったのです。そうではなかったという逆説が、キリスト教信仰の始まりです。無力さの極みで生き抜かれたイエスの姿が、弟子たちの中で、忘れることができずに残りました。イエスの死後、弟子たちは自分の無力さや死に直面した際、十字架で死なれたイエスの姿を垣間見ます。自分の無力さの中でこそ、命を確かにしてくれるイエスとのつながり、神とのつながりを見いだしたのではないのでしょうか。

人間の救いは、力強いヒーローが駆けつけることではなく、「何もできないけど、一緒にいてもいいですか」と言ってくれる友が来てくれることかもしれません。イエスは、赤ちゃんとしてこの世に生まれ、解きほぐせない悩みを持つ私たちと一緒にいてくださいます。それは、神が地上に降り、私たちと共にいてくださる救いです。神が共にいてくださるとは、私の悩みをちゃんと解きほぐしてくださるお方がいるという希望でもあります。

クリスマス、おめでとうございます。

※「インマヌエル」は「私はあなたと共にいる」という意味で、イエスを指します。

日本福音ルーテル清水教会・小鹿教会 牧師 秋久潤

*私たちの教会は宗教改革者マルティン・ルターの流れを汲むプロテスタント教会です。

少年よ 大志を抱け

中井弘和（小鹿教会）

「真理を行う者は光の方に来る。その行いが神に導かれてなされたということが、明らかにするために。」（ヨハネによる福音書3章21節）

秋になると、沖縄から北海道まで日本列島の15地域ほどの農家水田を稲の育種のために巡るようになって10年ほどになります。志ある農家の人たちと共に農薬や化学肥料を使用しなくても収量の上がる稲の品種を育成しようとしての事です。

3年前北海道の札幌近郊の由仁町で稲の選抜作業の後、小雨の夕暮れの中、車で北海道稲作の発祥地といわれる場所に案内してもらったことがあります。明治6年に篤農家の中山久蔵という人が赤毛という本州北端の品種稲を栽培し、はじめて成功した所です。当時の小さな田んぼがそのままの形で保存されています。水を温める工夫をこらした水路の跡がはっきり残っていました。寒い日はすぐ横に残る作業小屋で中山氏は夜も寝ずに湯を沸かし水田に流し込んだと伝えられています。夕闇の秋雨の寒さを忘れ、心躍らせながら佇むうち、『この地に寒地稲作始まる』と記す記念碑から少し離れた位置に仰ぎ見るほどの高さの石柱が立っているのが目に留まりました。近づきよく見ると、『少年よ大志を抱け』と刻んでありました。

北海道稲の発祥の地は同時にクラーク博士が別れを惜しむ札幌農学校の学生たちに「少年よ 大志を抱け」と馬上から叫び雪原を去っていった場所でもあったのです。今年は秋晴れの午後再び当地を訪れ、中山久蔵氏の記念館を視察し案内係の人からクラーク博士のことも詳しく聴くことができました。小さな田んぼの傍らには、刈り取ったばかりの赤毛種の稲が稲架（はさ）にかけられていました。案内の人は珍しい赤毛の稲穂を記念にと何本か私たちに手渡してくれました。さて、遙か明治10年の4月中旬、博士は馬にまたがり札幌からの雪道20kmばかりを、やはり馬に乗った見送りの学生たちを従えてこの場所に至りました。その時中山氏の田んぼはまだ雪に覆われていたに違いありません。

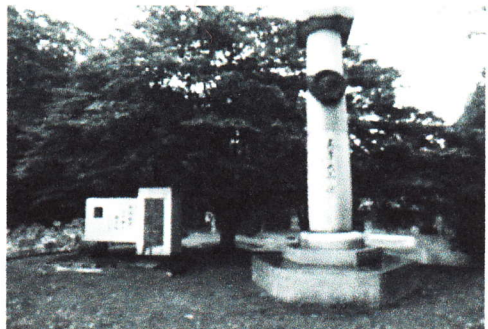
米国マサチューセツェット農科大学学長であった博士は短期間の休暇を取って来日、日本最初の高等教育を担う札幌農学校の教育をリードしました。北海道の風土に適う畜産や麦栽培の学理や実践など専門分野とともに人の生き方を極める哲学、文学、宗教などにかかわる教育に情熱を傾注しました。学生に聖書を配り、キリスト教を教え諭す教育にも熱心だったと伝えられています。今も、日本人の心に定着した「少年よ 大志を抱け」の意味が時々話題にあがります。「利己を越えて真理を求める大志を抱け」がその内容を最も的確に表しているようです。「学理を極め畜産や麦作を北海道の大地に根差す大志を抱け」という具体的意味を説く説もあります。

クラーク博士の志は、8カ月という短い滞在期間ではありましたが、北の大地に息づきそれは日本の歴史に大きな足跡を残すことになりました。北海道は文字通り小麦や畜産の王国として君臨していることは周知のことです。小麦生産は今も50万トンを超え、全国生産量の52%を占めています。生乳も全国の50%以上を生産しています。

ひるがえって、米は今年、昨年まで第1位を保ってきた新潟県を超えて全国第1位の生産量を達成しました。その額は60万トンをはるかに超えます。このことにはクラーク博士には想像も及ばなかったことでしょう。いずれにせよ、北海道の麦と米のことを考える時、私には北海道稲作の発祥地と博士が最後に教え子たちにその志を伝えた地が同じ一点だったことをある感慨をもって想わざるをえません。中山久蔵氏の水田のすぐ傍に氏の生家があります。今は氏の記念館として、また、旧駅舎跡として保存されています。氏は稲栽培と格闘しながら、自宅を奥さんとともに旅館および食堂として生計を立てていました。クラーク博士一同はそこで昼食を摂ったそうです。北海道最後のひと時、博士は稲の姿を目にすることはありませんでしたが、中山久蔵氏と談笑したかあるいはその姿を垣間見た可能性はあります。

クラーク博士が日本の社会に残したもののの中で、聖書の教えに基づく愛や平和の思想を忘れることはできません。博士の教えに影響を受けたものの中から、日本の歴史に灯りを点す多くの人材が輩出しています。札幌農学校第2期生の内村鑑三もその例に当たります。内村は、日本最初の公害事件として知られる足尾銅山鉍毒事件の被害者たちを強力に支援し、当時日本が進めていた日露戦争に対しても徹底的な反戦を唱えました。足尾鉍毒事件に反対して生涯を被害者と共に生き抜いた田中正造が捕えられる獄中に聖書を差し入れたのも内村だったとの言い伝えもあります。田中は、聖書の言葉に触れて自らの世界が転生し、反対闘争の質の向上につながった、と述懐しています。

「少年よ 大志を抱け」は、明治政府が当初から推進する富国強兵の風潮にあって、立身出世主義をあおる標語の役割も果たしてきました。それが最高潮に達したのは太平洋戦争の最中であつたと聞きます。終戦時6歳の幼稚園児であつた私に当時の社会、政治的状況を理解するすべはありませんでしたが、母親たちが竹やりで人形を突く訓練など身の回りに生じていた狂乱の風景はよく覚えています。あれから70年以上が過ぎたこの時代、「自分が、あるいは我が国が1番!」という幻想を追ういわば出世主義がはびこる空気が濃厚になってきています。立身出世主義が差別主義につながっていくのは確かです。幻想を追えば追うほどに、人や社会は自らの立ち位置を失います。未来や、いのちを育む根っこを弱らせます。クラーク博士が投げかけた「少年よ 大志を抱け」の真の意味を、この時代、私たちは真摯に受け止めなければならないと思っています。



寒地稲作発祥（左）
とクラーク博士（右）
の記念碑（北海道北広島市島松）

☆ 詩編 139 : 5 節の祈り //

前からも後ろからもわたしを囲み
御手をわたしの上に置いてくださる。

// 望月隆延（清水教会）

宮代町の清水社会福祉会館「はーとぴあ」の一階に、NPO法人「たからじま」による「喫茶ひだまり」という名のラウンジがございます。日替り弁当などメニューに幅があり、就労する三名の利用者さんとも顔なじみの常連の一人です。大らかで目配りのきくAさん、実直なSさんが注文をとりつぎ、年初めに入ったNさんは、お茶などのお運びを主にしています。

3月に快活でよく響く声の青年が実習にきました。「うたうのが好きでしょう？」と、人けのひいたあるとき、声をかけると、「ばれてしまったか」と朗らかに応えます。「よくうたう歌は」ときくと、「ピコ太郎」といいます。するとNさんがカウンター席の横に立ち、「あんただあれ？」と、わたしを見つめるのです。互いに名のりあったあとでした。定位置に並んで立つ仲間たちが笑顔で見えています。後日、聖書に聴き祈る会のあとピコ太郎を話題にすると、牧師は動画を見せてくれました。翌日、「歌を聞きたいね。みんなでうたって、Nちゃんがダンスをするのもいいな」といった週明け、実習は終わりました。

今年は復活祭が4月半ばでした。そのころからNさんは、うしろに立って気配をうかがったり、背に手を当てるようになりました。「くすぐったいね」といわれるのが気に入っているようで、「くすぐったいの」といい、離れていきます。スタッフは「お客様でしょう」と必ず注意し、仲間の二人も定位置に連れ戻すのですが、屈託なく、次の日にはまた、手を置いてきます。

9月下旬に「ラルシュ・リトリート 2017」という3泊4日の黙想会に参加しました。ラルシュはフランス語で「箱船」を意味し、ジャン・バニエが二人の障害をもつ仲間と生活を始めたことに由来するコミュニティです。世界に147のコミュニティがあり、参加したリトリートは、安倍口新田にあるラルシュ・かなの家の主催です。

参加者は、複数の牧師・司祭、かなの家の仲間・スタッフ・ボランティア、交流のある共同体の方を含めて50数名。名簿の所属欄空白の方が20数名です。

参加を決めた機縁は、初期の頃から読み続ける創始者・佐藤仁彦さんの月ごとの便りが終わると知らされたことです。Nさんに後押しされてもいたことでしょう。

黙想会は受付が済むと部屋でも外でも沈黙で過ごし、最終日のミサ・派遣式のあと沈黙は終わります。食事中も同様で、解散前の昼食までお預けです。で、「分かち合い」では、お互いのありのままを心で受けとめることを大事にします。

講師はベン・ノランさん。フランスのあるラルシュのコミュニティ・リーダーで、6回の講話を担いました。その初日1回目、標題に掲げた詩編をもとに、経験をこう語られました。通訳は植松功さん。一神さまは人間性 Human being を通してわたしたちに出会われる。自分の駄目なところを神さまに見せることができないと思うわたしに、心配しなくていいよ、何か出来ることを一緒に考えようといってください。参加者に向けた案内に〈話ができない仲間や、話ができても難しいことは話せない仲間たちが、その姿・まなざし・弱さをとおして、私たちを導いてくれるでしょう〉とあります。頭も心も静め、心の奥の自分のつぶやき、神さまの呼びかけに耳を澄ます沈黙の賜物です。

周到に構成されたプログラムと、詩編の祈りにみちびかれ、見えざる方の呼びかけに耳を開かれる旅でございました。

♡ 小鹿教会の教会学校ってこんなところですよ ♡

石川直美(小鹿教会)

子どもたちが、毎週日曜日教会に集まって、いっしょに神様を礼拝します。
礼拝ってどんなことをするの？

神様をほめたたえ、聖書を読み、讃美歌を歌い、お祈りをします。

礼拝をした後、分級(ぶんきゅう)をして聖書の勉強をします。

幼稚科・小学科はお話し、ゲーム、工作などをして楽しく過ごします。

中学科・高校科は聖書の勉強をします。

日曜日の朝9:30からです。誰でも来てください。いつでも来てください。



12月の行事 (会場は小鹿教会：静岡市駿河区小鹿 1-18-11 Tel. 054-285-7725)

☆：12月2日(土) 収穫感謝祭 16:00～18:00

パンをこねて焼いたり工作やクリスマスツリーの飾り付けをします。

☆：収穫感謝祭とは

教会の「収穫感謝祭」は太陽を照らし、雨を降らせ、豊かな収穫のめぐみを与えてくださった神様に感謝をささげる日です。

17世紀、自由の地を求めてアメリカ大陸を目指した人たちは、農業の知識も経験もあまりなく、やせた土地の開墾に苦労しました。先住民からとうもろこし、小麦などの種を分けてもらいました。秋に収穫をした時、教会で感謝の礼拝をささげ、先住民の友人を家庭に招いて感謝祭の食事をしました。このできごとを記念して、1864年にアメリカのリンカーン大統領は11月第4木曜日を祝日に決めました。

☆：12月23日(土) 子どもクリスマス 14:00～16:00

ゲームや歌、プレゼントもあります。

参加費無料、事前申し込みも不要です。親子でご参加頂けます。



☆良子さんの お料理コーナー☆

石川良子（小鹿教会）

<♪シャキシャキつくねとパクパク大根♪♪>

冬になると大根がおいしくなります。せっかくのおいしい大根をむだなく食べたいですね。

つくね

材料

- ・大根の皮 100 g（大根：中くらいのもの 1/2 本は 500 g 位。
皮は厚めにむくと 100 g 位）
- ・豚ひき肉 300 g
- ・玉子 1 ヶ
- ・片栗粉 大さじ 1
- A 砂糖一大さじ 1、酒一大さじ 1、みりん一大さじ 1、醤油一大さじ 2 を合わせておく。



☆作り方

- 1: 大根の皮は良く洗い、粗みじんに切る。
- 2: 豚ひき肉、玉子、片栗粉をボールに入れ、ねばりが出るまでよく混ぜる。
- 3: フライパンに大さじ 1 杯位の油を入れて、中火で色よく焼く（8 等分の小判形）。
- 4: フライパンから取り出しキッチンペーパーでナベをきれいにする。ナベに A を入れて火にかけ肉を戻してからめる。

パクパク大根

☆作り方

- 皮をむいた大根は細切りとしゴマ油大さじ 1 位で炒める。
しんなりしたら鶏ガラスープ小さじ 1 をかけ、醤油大さじ 1、
みりん大さじ 1 を入れて水気がなくなるまで炒める。
器に入れてから上に七味唐辛子をふる。
（炒めすぎないように）そのあたりはお好みで！！





クリスマス・プログラムのご案内



12月23日（土）午後2時～4時（小鹿教会）

【こどもクリスマス会】

今年も小鹿教会でクリスマス会をやるよ。今年も歌って、お話を聞いて、ゲームして、プレゼントをもらって、ケーキを食べて…、楽しいクリスマスにしよう。



クリスマス礼拝

12月24日（日）

午前9時～（清水教会） / 午前11時～（小鹿教会）

今年のクリスマスは、あなたの街の教会で過ごしてみませんか。

クリスマスイブ礼拝・祝会

12月24日（日）午後6時～（清水教会）

木の落ち着いた雰囲気の中、クリスマス・イブの夜を静かに、一緒に讃美歌を歌いながら過ごしてみませんか？



クリスマス礼拝・ゴスペル ミニコンサート

12月25日（月）午後7時～（小鹿教会）

クリスマスの夜を教会で過ごしてみませんか？
午後8時より、ゴスペルのコンサートが行われます。

サンタクロースは泥棒を守ってくれる？

サンタクロースのモデルである聖ニコラスには、いくつもの伝説があります。その一つに、彼は泥棒を守ってくれる守護聖人でもあるということです。といっても、泥棒が首尾良く盗めるように守ってくれるのではなく、もう盗まないように守ってくれるのです。

（賀来周一『サンタクロースの謎』より）

<集会案内>

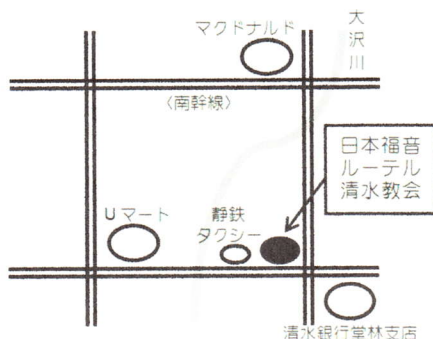
日本福音ルーテル清水教会

静岡市清水区西高町 16-10

☎ 054-352-8910

- | | | |
|-----------|-------|-------------|
| ◆英語聖書朗読会 | 日曜日 | 午前8時～9時 |
| ◆主日礼拝 | 日曜日 | 午前9時～10時30分 |
| ◆女性会例会 | 第2日曜日 | 午後1時～3時 |
| ◆聖書に聴き祈る会 | 木曜日 | 午後1時30分～3時 |

どなたでも
ご自由にご参
加ください。



日本福音ルーテル小鹿教会

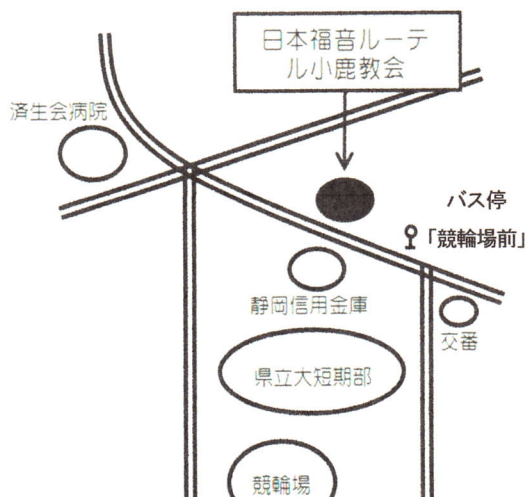
静岡市駿河区小鹿 1-18-11

☎ 054-285-7725

E-mail: nre22021@nifty.com

URL: <http://jelc-oshika.c.ooco.jp/>

- ◆教会学校 (幼児～高校生)
日曜日 午前9時30分～10時30分
- ◆主日礼拝 (子供を含めてどなたでも)
日曜日 午前11時～12時30分
- ◆聖書に聴き祈る会
水曜日 午前10時30分～11時30分
午後 7時30分～ 8時30分
- ◆女性会例会
第2水曜日 午前10時30分～11時30分
- ◆バイブル・キルトの会
第4金曜日 午前10時30分～12時30分
- ◆子育て会
第1金曜日 午前10時30分～12時



静鉄バス美和大谷線「競輪場前」下車徒歩2分